



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社デルソーレ 上場取引所 東  
コード番号 2876 URL <https://www.del-sole.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大河原 泰  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 印部 修一 (TEL) 03(6736)5678  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,974	△13.2	150	△63.5	253	△39.7	241	△11.1
2024年3月期第1四半期	4,581	13.8	412	154.5	420	90.6	271	94.3

  

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年3月期第1四半期	27	14	—	—
2024年3月期第1四半期	30	53	—	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	10,563	6,782	64.2
2024年3月期	10,737	6,632	61.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 6,782百万円 2024年3月期 6,632百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2024年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00	0.00
2025年3月期	—	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	17,500	△1.6	1,000	△18.1	1,000	△21.1	600	0.1	67	38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年3月期1Q	9,105,290株	2024年3月期	9,105,290株
2025年3月期1Q	200,242株	2024年3月期	200,192株
2025年3月期1Q	8,905,054株	2024年3月期1Q	8,905,098株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間（以下「当第1四半期」という。）におけるわが国経済は、社会・経済活動の正常化が進む一方、世界的な原材料・資源価格の高騰や円安進行による更なる物価上昇懸念、不安定な国際情勢の長期化等、依然として予断を許さない状況が続いております。

食品・外食業界におきましては、節約志向が根強い市場環境の下で、原材料価格や人件費、物流費の上昇による収益の圧迫が継続しています。こうした諸コストの高騰に加え、慢性的な人手不足の影響もあり、経営環境は厳しさを増しております。

このような経営環境の中で、当社は2023年度(2024年3月期)から2026年度(2027年3月期)までの事業運営に関する「中期経営計画2026」を策定し、経営理念である「食と食の文化を通じてお客様に満足と幸せを提供する」ことを一貫して追い求め、「食の安全・安心」を第一に掲げて、「“おいしい”で世界をつなぐ」をミッションに、業績の向上と財務体質の改善を図り、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期の売上高は3,974百万円（前年同四半期比13.2%減）、営業利益は150百万円（同63.5%減）、経常利益は253百万円（同39.7%減）、四半期純利益は241百万円（同11.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### 食品事業

食品事業におきましては、経済活動の正常化に伴う人流や消費活動の回復により、業務用分野は堅調に推移いたしましたが、一方で、食品スーパー、生協等の小売市場における価格転嫁により消費者の生活防衛意識は依然として高く、家庭用分野では食料品の買い控えが続いております。

このような状況の中、業務用については主力である外食市場をはじめ、取引先との関係強化や展示会への参加等により積極的な販売活動を進める一方、家庭用については惣菜・ベーカリー分野の強化、家庭用冷凍ピザの投入による市場開拓とともに、アイテム集約等を通じた収益改善を図ってまいりました。

当社の強みはエスニックブレッドの素材品（生地）であり、主力商品であるトルティーヤにカラートルティーヤを追加導入し品揃えの強化を図っております。また本年11月の創業60周年を記念して、本格冷凍ピザ「THE PIZZA」2品に続き、北海道八雲町に新設した「八雲ピザ工房」で製造する、生地・トッピングにこだわったデルソーレ史上最高級の冷凍ピザ「北海道PIZZA」4品を、自社ECサイト、デパート催事、ふるさと納税等で高付加価値商品として拡販に努めております。

マーケティング活動として、ピザ、ナン、ピタ、フォカッチャ、トルティーヤといった「世界のパン」をWEB、YouTube、SNS等多様なチャネルから情報を発信することで、楽しい食文化や食体験を通して食のバリエーションを提供し、食卓を豊かにしたいという想いととも、市場の拡大を目指しております。

海外ビジネスについては、北欧リトアニアの海外パートナー企業との連携を深めヨーロッパの本格的な冷凍パンの販売を強化するとともに、アメリカ産冷凍チーズの販売も積極的に推進しております。輸出に関しては海外からの引き合いも増加しており、円安を追い風に取り手を加速させ、今後は当事業の重要な柱として育成してまいります。

販売管理面では、売上規模に見合った在庫水準の適正化や、物流効率化の取り組み等を引き続き進めております。

この結果、当第1四半期の売上高は3,224百万円（前年同四半期比15.9%減）、セグメント利益は456百万円（同21.4%減）となりました。

#### 外食事業

外食事業におきましては、オフィス立地の集客が回復しつつある一方で、原材料価格の高騰に加え、人手不足による採用コストの増加やパート時給の上昇等により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、コロナ禍における変化対応で培った筋肉質なコスト構造を定着させつつ、既存店の更なる質の向上に取り組んでおります。具体的には食材ロス低減の取り組み、人員配置の最適化や在庫管理、家賃の減免等、徹底したコストコントロールを実施するとともに、テイクアウトブランドの強化による収益改善に引き続き注力してまいりました。特に「おめで鯛焼き本舗」を当社における成長ドライバーとして位置づけ、百貨店や商業施設への催事出店やフランチャイズ加盟活動を中心とした「守り」から「攻め」への転換を図るべく取り組んでおります。

当第1四半期は、契約満了に伴い居酒屋・レストラン業態の「燦鶏」1店舗を閉店しました。

この結果、当第1四半期の売上高は756百万円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント利益は36百万円（同407.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期会計期間末(以下「当第1四半期末」という。)における総資産は、前事業年度末(以下「前期末」という。)から173百万円減少し、10,563百万円となりました。流動資産合計は、現金及び預金が660百万円減少する一方、売掛金が147百万円、商品及び製品が221百万円増加したこと等により、95百万円減少し6,273百万円となりました。固定資産合計は、有形固定資産合計が53百万円、投資その他の資産合計が25百万円それぞれ減少したこと等により、78百万円減少し4,290百万円となりました。

(負債の部)

当第1四半期末における負債合計は、前期末から324百万円減少し、3,780百万円となりました。流動負債合計は、未払法人税等が200百万円、賞与引当金が98百万円それぞれ減少したこと等により、326百万円減少し2,407百万円となりました。固定負債合計は、退職給付引当金が10百万円増加したこと等により、2百万円増加し1,373百万円となりました。

(純資産の部)

当第1四半期末における純資産は、前期末から150百万円増加し、6,782百万円となりました。配当金の支払いによる106百万円の減少の一方で、四半期純利益241百万円により、利益剰余金は134百万円増加しました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期業績予想につきましては、2024年5月15日発表の業績予想から変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。業績予想の修正が生じる場合は速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,257,115	1,597,061
売掛金	2,844,330	2,991,893
商品及び製品	846,165	1,067,329
原材料及び貯蔵品	282,741	269,612
その他	138,362	347,708
流動資産合計	6,368,715	6,273,604
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,224,186	4,213,615
減価償却累計額	△3,051,073	△3,058,125
建物(純額)	1,173,113	1,155,489
機械及び装置	3,332,558	3,354,638
減価償却累計額	△2,272,175	△2,325,332
機械及び装置(純額)	1,060,383	1,029,305
その他	1,429,120	1,426,730
減価償却累計額	△478,033	△480,337
その他(純額)	951,086	946,392
有形固定資産合計	3,184,583	3,131,188
無形固定資産	11,209	11,561
投資その他の資産		
その他	1,174,239	1,148,572
貸倒引当金	△1,250	△1,250
投資その他の資産合計	1,172,989	1,147,322
固定資産合計	4,368,782	4,290,071
資産合計	10,737,497	10,563,676
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,520,987	1,555,446
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払法人税等	253,357	52,886
賞与引当金	153,556	54,995
資産除去債務	32,400	26,500
店舗閉鎖損失引当金	-	3,170
その他	713,829	654,194
流動負債合計	2,734,130	2,407,193
固定負債		
長期借入金	150,000	135,000
退職給付引当金	558,781	569,292
役員退職慰労引当金	244,892	250,607
資産除去債務	378,103	378,446
その他	39,442	40,442
固定負債合計	1,371,219	1,373,789
負債合計	4,105,350	3,780,982

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	922,939	922,939
資本剰余金	1,259,205	1,259,205
利益剰余金	4,476,373	4,611,216
自己株式	△87,436	△87,466
株主資本合計	6,571,081	6,705,894
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	61,065	76,798
評価・換算差額等合計	61,065	76,798
純資産合計	6,632,146	6,782,693
負債純資産合計	10,737,497	10,563,676

(2) 四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,581,578	3,974,839
売上原価	2,730,689	2,481,450
売上総利益	1,850,888	1,493,389
販売費及び一般管理費		
給料手当及び福利費	390,173	410,442
賞与引当金繰入額	35,937	37,197
退職給付費用	8,554	8,927
役員退職慰労引当金繰入額	10,039	5,715
荷造運搬費	333,620	293,405
その他	660,136	587,134
販売費及び一般管理費合計	1,438,462	1,342,821
営業利益	412,425	150,567
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	8,824	19,732
受取手数料	207	213
受取賃貸料	180	-
受取補償金	770	82,882
その他	2,441	1,779
営業外収益合計	12,425	104,609
営業外費用		
支払利息	1,102	251
支払保証料	1,698	1,698
保険解約損	1,764	-
その他	182	59
営業外費用合計	4,746	2,010
経常利益	420,104	253,166
特別利益		
国庫補助金受贈益	-	80,000
特別利益合計	-	80,000
特別損失		
店舗閉鎖損失引当金繰入額	12,710	4,769
特別損失合計	12,710	4,769
税引前四半期純利益	407,394	328,396
法人税、住民税及び事業税	8,588	39,018
法人税等調整額	126,953	47,674
法人税等合計	135,541	86,693
四半期純利益	271,852	241,703



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	食品事業	外食事業	
売上高			
一時点で移転される財又はサービス	3,832,388	743,025	4,575,413
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	6,164	6,164
顧客との契約から生じる収益	3,832,388	749,189	4,581,578
外部顧客への売上高	3,832,388	749,189	4,581,578
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,741	—	3,741
計	3,836,129	749,189	4,585,319
セグメント利益	580,199	7,188	587,387

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	587,387
全社費用(注)	△179,963
棚卸資産の調整額	△29
四半期損益計算書の税引前四半期純利益	407,394

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第1四半期累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	食品事業	外食事業	
売上高			
一時点で移転される財又はサービス	3,221,410	745,637	3,967,048
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	7,791	7,791
顧客との契約から生じる収益	3,221,410	753,428	3,974,839
外部顧客への売上高	3,221,410	753,428	3,974,839
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,980	2,571	5,552
計	3,224,391	756,000	3,980,391
セグメント利益	456,215	36,479	492,695

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	492,695
全社費用（注）	△164,327
棚卸資産の調整額	28
四半期損益計算書の税引前四半期純利益	328,396

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	96,692千円	88,878千円